



さいくうあと通信

発行 明和町 斎宮跡・文化観光課
(明和町大字馬之上 945 番地)
電話：0596-52-7126 FAX：0596-52-7133
E-mail：saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

～町内の民俗行事を記録保存しています～



近年、少子化や高齢化により行事の担い手不足により全国各地で民俗行事の廃止や縮小が問題となっており、次世代への継承が大きな課題となっています。皆さんのお住まいの地区ではいかがでしょうか。

明和町でも行事を次世代へいかに継続していくか課題に直面しており、明和町日本遺産活用推進協議会（事務局：斎宮跡・文化観光課）では、文化庁の補助を受けて本年度から数ヵ年をかけて町内の神事や年中行事を映像で記録保存していく事業を進めています。

事業では、動画による撮影を基本とし、行事だけでなく準備作業や練習風景も合わせて記録することで後世の人が行事を行う際に参考にできるようにしていきます。また、撮影した動画はDVDにし、記録版として行事実施団体等にも配布予定です。合わせて、子どもたちの学習や観光面での活用にも用いる普及版も作成します。さらに、撮影データを活用した SNS での発信やライブ配信も行います。

今年度は、町の指定文化財になっている民俗行事を中心に、①「大淀の祇園祭り（東区・山大淀・三世古）」、②「蓑村の虫送り」、③「中村の安産祈祷相撲」、④「志貴の精霊相撲」の記録撮影を行いました。また、今年度中に「前野の御頭神事」も撮影を行います。来年度以降も町内各地区の民俗行事を引き続き撮影していく予定です。皆様のお住まいの地区にも撮影に行く場合がありますので、どうぞ協力くださいますようお願いいたします。

①大淀の祇園祭
(山大淀)



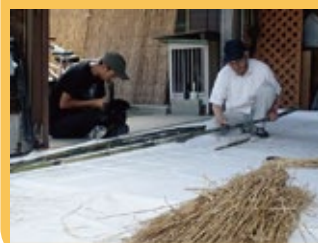
①大淀の祇園祭
(三世古)



①大淀の祇園祭
(宵宮祭、東区)



②蓑村の虫送り



③中村の安産祈祷相撲



④志貴の精霊相撲



齋宮跡を支える人々①

全国でも屈指の広さを誇る史跡齋宮跡。地元の人々のご協力がなければ守ることはできません。史跡齋宮跡を支える方々をシリーズで順次で紹介していきます。

<史跡齋宮跡植栽計画推進委員会>（緑のまちづくり推進委員会、国史跡齋宮跡協議会、呉竹倶楽部、齋宮歴史博物館、明和町、（公財）国史跡齋宮跡保存協会）

委員は齋宮跡の関係団体で構成され、齋宮跡内での菜の花やコスモスの種まきなどにご協力いただいております。年間を通じてさまざまな花々を楽しむことができます。



菜の花の種まき

<いつきのみやガイドボランティア>

いつき茶屋（齋宮跡休憩所）を拠点に、齋宮跡への来訪者に対し齋宮跡の魅力をガイドしていただいています。月に一度研修会も行われ、日々齋宮跡に関するガイド内容の向上もはかられています。



ガイドメンバーを随時募集中です!!

※史跡齋宮跡のガイドについて

月曜日を除く日中にガイドを実施。

ガイドの予約は明和町観光協会（0596-52-0055）まで。



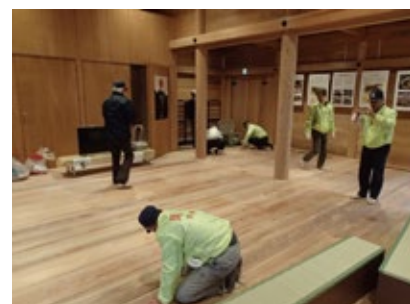
くれたけくらぶ

<呉竹倶楽部>

牛葉地区の方々に結成されており、平安時代の齋宮寮の建物を復元した「さいくう平安の杜」の管理や来訪者の対応をしていただいています。



復元建物の解説



西脇殿の清掃活動

史跡内での工事は、事前に齋宮跡・文化観光課までご連絡ください!

史跡齋宮跡地内での建物の新築、解体撤去、合併浄化槽の設置、フェンスやブロックの設置などの工事を行う際には、文化財保護法の適用のもと、事前に許可申請が必要となります。また、齋宮跡以外の地域においても、周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡の範囲）内で開発する際は同法により届出が必要です。文化財の保護に皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いします。なお、ご不明な点は役場齋宮跡・文化観光課（電話：52-7126）までご相談下さい。